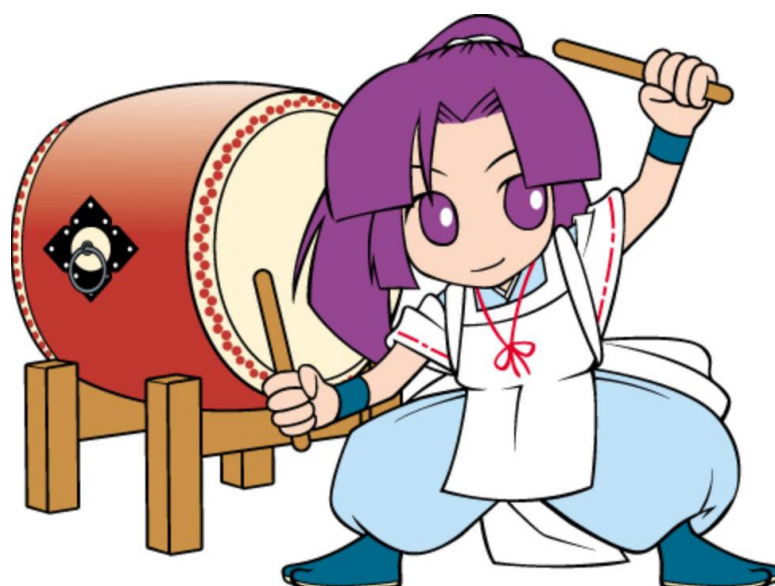


第41回京都府高等学校総合文化祭

郷土芸能部門プログラム



〈日時〉 令和6年11月3日(日祝) 開場:14時15分 開演:14時30分

〈会場〉 東部文化会館

京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部会長挨拶



今年是非常に長い間、厳しい猛暑が続いておりましたが、ようやく、日増しに秋の深まる気配を感じられるようになりました。この度は、京都府高等学校総合文化祭にご参加いただき、心より感謝申し上げます。今年も若き才能が集い、文化を創造し、発表するこの特別な機会を迎えられたことを大変嬉しく思っております。

この文化祭は、府内の高校生たちが日々の学びや活動の成果を発表し、互いに刺激し合う場となります。音楽、演劇、美術、文学など、非常に多くのジャンルの部門があり、その中でも郷土芸能部門は、各校の生徒たちが地域の伝統芸能を学び、表現し、発表することで、郷土の魅力を再発見し、共有することを目的としています。高校生たちの熱意と努力が、皆様に感動を与え、地域の文化への理解を深めるきっかけとなることを期待しています。

また、異なる学校や地域の仲間たちと意見を交わし、共に学び合うことで、より広い視野を持つことができる非常に貴重な機会でもあります。みなさんがこの場で得た経験や友情が、今後の人生において大きな財産となることも心から願っています。

最後に、文化祭の成功はみなさまのご協力によって成り立っています。ご来場いただいたみなさま、そして運営に携わってくださった全ての方々に心から感謝申し上げます。共に素晴らしい時間を過ごし、京都の文化を再確認し、未来へとつなげていきましょう。

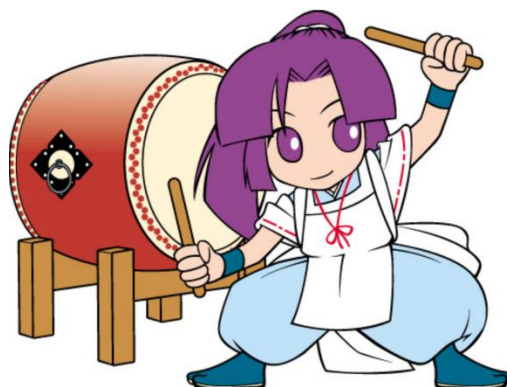
京都府高等学校文化連盟郷土芸能専門部

会長 安田 文彦

(京都橘高等学校長)

プログラム

1. 京都府立南丹高等学校「出雲風流花踊り」
2. 京都府立南陽高等学校「マジック&ジャグリングショー」
3. 京都府立嵯峨野高等学校「舎弟」
4. 京都光華高等学校「海焰-KAIEN-
5. 京都府立北嵯峨高等学校「四つ太鼓・越後晒し」
6. 京都橘高等学校「呼響」



各団体・演目紹介

1. 京都府立南丹高等学校「出雲風流花踊り」

団体紹介

出雲風流花踊り神事を維持・永続するために設立された出雲風流花踊り保存会は、平成23年の国民文化祭・京都2011をはじめ、亀岡市内外のさまざまなイベントに参加するとともに、小学校等での体験学習指導等、保存・継承活動を行っています。南丹高等学校の学校設定科目である京都文化学入門においても、保存会の指導を受けて、出雲風流花踊りを習っています。



演目紹介

京都府亀岡市にある丹波国一之宮の出雲大神宮において、4月に行われる鎮花祭で出雲風流花踊りが奉納されます。季節の花を意匠とした花笠をかぶり、碁太鼓を打ちながら踊り奉納される出雲風流花踊りは、京都府無形民俗文化財に登録されています。

読み仮名 出雲風流花踊り：いずもふりゅうはなodorい 出雲大神宮：いずもだいじんぐう
鎮花祭：はなしずめのまつり 花笠：はながさ 碁太鼓：しめだいこ

2. 京都府立南陽高等学校「マジック&ジャグリングショー」

団体紹介

はじめまして、南陽高校マジック部です。現在、私たちは中学生9人と高校生4人で日々活動しています。大規模なイリュージョンマジックからテーブルマジック、ジャグリングまで、観客の方に幅広く楽しんでいただけるように、部員一人ひとりが日々練習と研究に励んでいます。地元の子ども会や高齢者施設などが主催する地域のイベントに呼んでいただき、練習の成果を披露しています。



演目紹介

今回の出演で披露させていただく内容は、マジックのネタに関わるのでくわしくはお伝えできません。しかし、実際にマジックを見たことがある人も、まだ見たことがない人もきっと不思議な体験ができると思います。ぜひ、楽しんでご覧ください。

3. 京都府立嵯峨野高等学校「舎弟」

団体紹介



嵯峨野高校は「和敬清寂」という茶道の心を建学の精神とし、学科名を「京都こすもす科」とするなど京都の伝統文化を尊重しています。2009年、大藏流狂言師茂山千五郎先生の御指導による狂言の取組が始まり、2016年には狂言部が発足しました。毎年12月に能舞台で狂言会を開催するほか全国高校生伝統文化フェスティバル等に出演してきました。現在、部員は2年生3人。今日は全員で狂言「舎弟」を演じます。

演目紹介

弟は、兄がいつも自分を「舎弟」と呼ぶことが不審で、物知りにも尋ねに行きます。呆れた教え手は、悪戯心を起こし、舎弟とは盗人のことと教えます。憤慨した弟は、兄のところへ行き、兄こそ天目茶碗を盗んだり、近所で生まれた子牛に墨を塗って斑牛にして売り飛ばしたりしたのではないかと責め立てます。この曲の面白さは、意知を笑われていた弟と利口なはずの兄の立場が逆転して、兄が追い詰められていくところではないかと思えます。

読み仮名 和敬清寂(わけいせいじゃく)、大藏流(おおくらりゅう)、

茂山千五郎(しげやませんごろう)、舎弟(しゃてい)、天目(てんもく)、斑(まだら)

4. 京都光華高等学校「光響」

団体紹介



京都光華高等学校和太鼓部は、平成19年和太鼓同好会として発足しました。現在は関西唯一の女子校和太鼓部、中高一貫のクラブ活動として、知徳体のバランスのとれた人となるために、そして、校訓の「美しいひととなろう」を軸として、美しい姿勢・魅せる演奏を目標に練習に励んでいます。披露できる演目も増え、7月には第2回定期演奏会を開くことができました。地域での演奏などにも参加し、和太鼓の魅力を伝えています。

演目紹介

本日演奏いたします「海焔-KAIEN-」は、和太鼓奏者の加藤秀明さんに作曲していただいたオリジナル曲です。大航海時代の海へ挑む船乗りの熱い気持ち表現した曲になっており、大海原を自らの手で切り拓いた船乗りたちの挑戦を、これから先の京都光華高等学校和太鼓部の挑戦と重ねて作曲していただきました。嵐あり、宴あり、開拓ありといった、曲を通して構成された物語を想像しながらお楽しみください。

読み仮名 海焔-KAIEN-: かいえん 加藤秀明: かとうひであき 切り拓いた: きりひらいた
宴: うたげ

5. 京都府立北嵯峨高等学校「四つ太鼓・越後晒し」-



団体紹介

開校2年目に創部された郷土研究部は、京都の伝統芸能の継承に取り組んできました。特に平成16年度からは「六音踊」を学ぶ活動を続けています。平成18年度に全国総文への出演や中国・西安市への親善訪問を行ったほか、京都コンサートホールで開催される全国高校生伝統文化フェスティバルにも平成25年度・平成26年度・令和元年度に特別出演させていただきました。その他、高齢者施設への慰問公演なども行ってきました。

演目紹介

六音踊は、宗教的芸能である六音念仏の中に、様々な芸能が取り入れられて成立した郷土芸能です。四つ太鼓は、台上に置かれた4つの太鼓を、篠笛と鉦の伴奏に合わせて、演者が入れ替わりつつ早打ちしていく演目で、演者ごとのリズムの強弱の付け方が聴き所となります。越後晒しは、九代目杵屋六左衛門が作曲した長唄の旋律に合わせて、豆太鼓の相打ちと白い晒し布を使った踊りが繰り広げられます。

読み仮名 九代目杵屋六左衛門 きゅうだいめ きねやろくざえもん

6. 京都橘高等学校 「呼響」



団体紹介

私たちの学校は、水と緑に恵まれた歴史の町、京都伏見にあります。文武両道を掲げ、学習にも部活動にも力を入れています。吹奏楽部、女子バレーボール部、男子サッカー部、陸上競技部が全国の舞台で活躍しています。太鼓部は1982年に太鼓サークルとして発足し、現在は京都橘中学校・高等学校太鼓部として活動しています。「心は一つ」を合言葉に、基礎基本を重んじ、日々活動に励んでいます。

演目紹介

本楽曲「呼響」は本校コーチ北村多喜雄先生のオリジナル曲です。モンゴルの大草原を舞台に様々な展開が繰り広げられる様子をイメージした曲となります。雄大な草原を篠笛と二胡のハーモニーで、草原を駆け抜ける馬の軽快なリズムを鈴太鼓で、さらに吹き荒れる自然の猛威を大太鼓と鉦桶で、そして最後の全員演奏では、馬に乗り大草原を颯爽と駆け抜ける様子を表現します。部員の爽やかで力強い表現、演奏に注目してお聞きください。